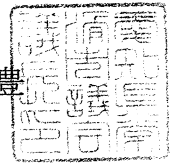




令和3年3月22日

常滑市長 伊藤辰矢様

常滑市議会議長 加藤久豊



「第8回議会と語る会」の結果報告及び要望事項について

去る令和2年12月14日に市内で活動する諸団体の皆さんをお招きして「第8回議会と語る会」を開催しました。

各団体関係者から貴重なご意見をいただきましたので、下記のとおり報告いたします。

また、議会で意見に対する対応等を精査し、要望事項をまとめましたので、常滑市におかれましては、この結果報告及び要望事項が市政に反映されるようお取り計らい願います。

記

とこなめ障がい者相談支援センター（常滑市障がい児親の会「とこぴあ」）

意見要望等	議会として市への要望
<ul style="list-style-type: none"> ・重症児は同年代の乳幼児と過ごす時間が必要である。 通える保育園等が必要である。 ・重症児が特別支援学校に通う際には、保護者の付き添いが必要なため通学バスでの送迎が困難である。 ・地域の小学校は看護師がいないため、毎日通学できなくなっている。 ・高校卒業後、重症児の通える場や療育等の進路がないことや災害時の対応が決められていないことに不安がある。 	<p>障がい児やその保護者は、多岐にわたる悩みを抱えている。</p> <p>市は、保護者の不安を取り除くことができるよう意見を聞く場を多く設け、その都度協議するなど、障がい児や保護者に寄り添う対応をされるよう配慮されたい。</p> <p>また、障がい児が地域で暮らしやすくなるよう配慮をされたい。</p>

とこなめ地域猫の会

意見要望等	議会として市への要望
<ul style="list-style-type: none"> ・野良猫問題は地域の環境問題であり、地域猫活動についての正しい知識が周知されていないため、地域猫活動が理解されにくい。 市民への啓発が不足している。 ・令和2年度からは、地域猫不妊去勢手術費補助金ができしたが、課題があるため対応してほしい。 ・市へ問い合わせや相談をしても対応が遅いので、速やかな対応をしてほしい。 	<p>地域猫活動への地区の理解が深まるよう、回覧だけではなく、市民の意識等の改善を促す施策を検討されたい。</p> <p>犬・猫を捨てることが犯罪である旨を看板の掲示等にて周知するよう検討されたい。</p> <p>不妊去勢手術費補助金は、申請手続きが煩雑であるため、利用しやすい補助金制度となるよう改善に取り組みたい。</p> <p>市民の問い合わせ等には、速やかに対応できる体制となるよう配慮されたい。</p>

530とこなめ

意見要望等	議会として市への要望
<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量について取り組みをはじめた時は愛知県下54位であったが、近年は10位前後となり、ごみの減量化は成功している。 さらなる減量化を進めるためにも、子育て世帯へのごみ分別の普及・浸透させたい。 ・ごみ分別（減量化）の必要性の情報発信を進めていきたい。 ・常滑市「ゼロ・ウェイスト宣言」を策定したい。 	<p>子育て世帯へのごみ分別の周知方法として、子育て支援センターや幼保育園、こども園などでの保護者への啓発を検討されたい。</p> <p>第6次総合計画策定において、ごみ減量化の議論を、市民を交えて行えるようにされたい。</p>

広報広聴委員会

委員長 西本 真樹
副委員長 伊藤 直
委員 山田 豪
委員 渡邊十三香
委員 大川 秀徳
委員 中村 崇春
委員 都築 周典